

IoT監視サービス「ID-Watchy®」

BLE とカメラによる IoT 監視サービス

BLEセンサーによる位置情報とカメラ映像を連動した、クラウド型IoT監視サービス

センサーと映像を連動し高精度な監視ができるサービスです。
あらゆる現場を見える化し、人・モノの安全・安心を提供します。

こんな課題をお持ちの製造業・建設業の方へ

- 従業員の労務管理を可視化したい
- 危険エリアへの入退を管理したい
- 事故・トラブル時に状況を可視化したい
- 従業員の動線を管理したい
- 機材の置き場を管理したい
- 担当者を探索したい

センサーと映像の連動による高精度監視サービス

監視対象(人/モノ)にBLE(Bluetooth Low Energy)カードを搭載させて、センサー内の対象者・対象物の位置情報を取得。
さらにNVR(Network Video Recorder)カメラを使って映像でも現場の状況を把握できるサービスです。

現場管理の精度向上

誰が、何が、いつ、どこで、どのような状態にあるのかを可視化。
監督者・責任者は、遠隔地からでも現場の状況を確実・簡単に把握することで、
労務管理、安全管理、トラブル発生時の証跡確認など幅広く活用できます。

つまり、ID-Watchy とは

BLE技術と監視カメラを使った
人・モノの安全・安心を
可視化するサービス



ID-Watchy®の特徴

- 特徴 1** 既存測定器の流用が可能

作業員がBLEタグを搭載したBeaconカードを携帯すれば、屋内・屋外問わずさまざまな場所でのセンシングが可能です。作業員別の滞留時間や動線などを可視化、分析することで、現場の人員の最適な配置や作業手順の見直しにつなげることができます。
- 特徴 2** 利用頻度の高い機材の居場所管理

モノに小型BLEタグを付帯することで、機材の滞り場所を自動的に検知・記録します。そのデータを分析し、業務効率を考慮した配置に見直すことができます。
- 特徴 3** トラブル時における特定画像の検索

作業員の行動履歴は1ヶ月間アーカイブされ、閲覧・ダウンロードが可能。Beaconカード単位での履歴検索もできます。
- 特徴 4** 遠隔地からリアルな映像監視

検知した人・モノの位置情報と映像はクラウド環境で一元管理され、管理者は現場から離れた場所においても、インターネットを使ってPC、タブレット、スマートフォンからリアルタイムで確認することができます。

詳しくは下のQRコードから



導入事例

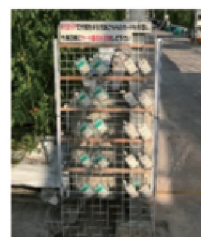
株式会社福井和郷さま

ハウス内での作業管理・熱中症予防に活用

トマトハウス内にBeaconセンサー、カメラを設置し、作業員の所持するBeaconカードをセンサーが読み取り、自動的に作業員の行動を記録します。記録された作業内容や作業時間を労務管理データとして活用し、作業員の得手不得手や作業スピードの把握が可能になりました。また、夏場の熱中症予防にも活用されています。



Beaconセンサー

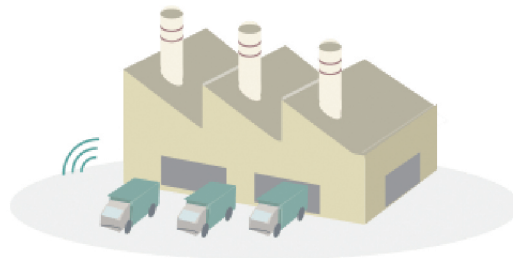


Beacon Card

ハウスメーカーA社さま

工場内でのトラックの動態を可視化

長時間労働の原因となる荷待ち時間の解決に向けて、トラック数や駐車時間を監視。ドライバーの労務管理に活用しています。また、Beaconカードによって自動的に検知することで、工場出荷時の正確な時間を把握しています。



製造工場B社さま

作業員の動態(位置)把握／生産管理に活用

作業員のポケットにBeaconCard(発信機)を入れ、作業場所や時間を把握しています。また、得られたデータを、作業員の効率的な配置の検討やライン単位での作業原価管理にご活用いただいています。

